企業・団体名（　社会福祉法人みまき福祉会　）

（様式第３号）

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件２）

	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	人権・労働		【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本	･雇用、教育、昇進、登用、福利厚生などあらゆる雇用条件で差別をしない体制を構築している。研修の実施					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2			【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本	･ハラスメントを禁止する旨を就業規則に明記している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3			【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	･労働基準法等の改正内容を経営者を含め共有している。長時間労働是正のための労働生産性の改善、時間管理、多様な働き方を許容する勤務体制の整備･対応を行っている。								8.5 8.8									
4			【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	･外国人労働者の雇用を実施しており、適切な処遇や労働環境の整備を行っている。				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
5			【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	･衛生委員会を毎月開催し、職場巡回チェックも衛生管理者が毎週行うことで、職場の労働環境の整備に取り組んでいる。			3					8								
6			【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	･メンタルヘルスに関する職場の理解を促進するための研修を実施している。			3													
7			【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本	･法人の女性管理職割合は5割と高く、育児中の職員も安心して働けるよう施設内保育施設を設けている。また、障がい者の就労継続支援事業を行っている。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8			【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	･キャリアパス制度を設け、研修プログラムによりスキルアップできる体制を構築している。様々な法人内研修を実施し、管理職、中堅、新人の育成を行っている。				4	5.5			8	9								
9			【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	･【予定】法令を理解し、同一労働同一賃金等の原則に沿った体制の整備を目指す。					5.5			8.5		10.2 10.3							
10			【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ	･職員の福利厚生にて自法人の健康増進施設（プール、トレーニングセンター）を利用できる。 ･腰痛予防の体操を行っている。			3					8									
11	環境		【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本	･適切に処理をしている。											11.6	12.4		14.1			
12			【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	･電気、灯油等の使用量を把握し、節約に気を付けている。							7.3						13				
13			【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本	【予定】･施設修繕を中期的に計画し、自然エネルギーの導入と合わせ、削減に取り組む。							7.2 7.3					12.4	13.3				
14			【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本	･法令等で規制されている有害化学物質を把握し、適切な使用方法にて業務を遂行している。			3.9			6.3					11.6	12.4					
15			【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	･活動が環境に悪影響を及ぼさないよう配慮している。また、環境保全のボランティア活動を積極的に実施している。						6.6									15		
16			【３Ｒの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	･使用しないタオルや下着等を清拭布として再利用している。資源ごみを利用した自社製品の開発（牛乳パックでの名刺づくり等）を行う。												12.5		14.1			
17			【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ	･水源を含む利用状況を把握している。						6.4 6.6											

	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
18		✓	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	･環境マネジメント規格は取得していない。			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
19			【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	･環境ボランティアの活動を法人のホームページや広報誌で公表している。												12.6					
20			【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	【予定】太陽光パネルを設置し、電力利用量の削減を目指す。							7.2						13				
21			【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	･認証製品を利用している。非合法材を使用していないことの確認をしている。												12.2	13	14	15		
22	公正な事業慣行		【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	･禁止等を含む行動規範を就業規則に明記している。																16 16.5	
23			【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	･関与しない方針を含む行動規範を就業規則に明記している。																16	
24		✓	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	･【予定】特許や商標等知的財産の取得があれば管理･保護に努める。								8.2 8.3	9								
25			【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	･個人情報保護規定を定め、体制を整備している。																16	
26		✓	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	･鉱物資源を取り扱っていない。																16	
27		✓	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	･【予定】事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性等への悪影響の防止、倫理面での適切な対応について認識を共有し、ともに取り組んでいけるよう確認していく。					5			8		10		12	13	14	15	16	17
28	製品・サービス		【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	･介護サービス提供時のリスク管理、リスクマネジメントを行い、安全に利用できる取り組みをしている。			3.9									12.4					
29			【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	･サービスの質の向上を図るため、法人または各事業所内での研修会の開催や、多職種間での情報共有を行う会議を開催している。									9								
30			【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	･【予定】製品開発時や生産時の環境影響を把握する。						6						12	13	14	15		
31			【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	･地域の課題やニーズを把握し、新規事業の検討や年次事業計画に反映している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

		非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
32	社会貢献・地域貢献		【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	・地域と積極的に交流し、地域のニーズや法人の在り方等を検討している。				4					9		11	12		14	15		17
33			【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	・地域と合同で防災訓練を実施している。地域清掃等のボランティアの実施や、地域のボランティア組織の受け入れをしている。				4							11			14	15		17
34			【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ	・地元食材を使用した食事の提供をしている。								8	9		11	12	13				
35	組織体制		【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	・法人基本理念を全職員で共有し、中期経営計画に沿った年間事業計画を作成し法人内で共有している。								8	9								17
36			【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	・法令順守(コンプライアンス)の重要性を確認するために全体研修等で確認している。																16	
37			【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	・中期経営計画の実行を管理するため、経営戦略会議にて各事業管理者が会議を行っている。																16	
38			【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本	・利用者と定期的に担当者会議を開いている。 ・地元地域と情報連携会議を開き情報共有している。																16	17
39			【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	・リスクマネジメントの体制を整備している。第三者委員会を組織し事故検証や評価をしている。																16	
40			【社会的責任】 ・ＣＳＲ（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	・社会福祉法人としての役割を果たすべく、組織統制体制を確立し、経営に対する適切な牽制体制を構築している。																16	
41			【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	・非常災害対策計画を策定している。 【予定】BCPを策定する。									9		11		13 13.1			16	
42			【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	【予定】管理者育成研修を実施する。								8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
【ご利用者に対する基本姿勢】 ・人権の尊重、サービスの質の向上、生活環境・利用環境の向上	・人権を尊重し、尊厳が守られる福祉サービスの提供。ケアポートブランドの推進。安全で衛生的な環境の整備。			7								5						
【社会に対する基本姿勢】 ・地域における公益的な取り組み、地域との関係性・情報発信、2025年・2040年の課題に向け新たな地域包括ケアシステムを構築	・地域貢献活動の継承、地域活性化への取組み、地域福祉課題、生活課題へのかかわり	2										3						
【福祉人材に対する基本姿勢】 ・人材確保・定着に向けた取り組み、人材育成（教育・研修プログラム）、障がい者雇用の推進	・働き方改革の推進、トータルな人材マネジメントの推進、障がい者雇用を進め共生型社会の実現を目指す。				7				5									
【マネジメントに対する基本姿勢】 ・コンプライアンス意識の向上、ガバナンスの推進、健全な財務規律の確立	・公益性・信頼性の高い事業活動を推進し、適正な収益を確保し安定的な財政基盤を確率します。									1								

【記載留意事項】

・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）

・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。

・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。

また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）